

大館市教育委員会会議録

日 時 令和 7 年 4 月 2 1 日 (月)
午後 1 時 3 0 分
場 所 大館市役所本庁 5 階
第 4 委員会室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及 び 場 所	日 時 場 所	令和7年4月21日（月） 大館市役所本庁5階	午後1時30分 第4委員会室
2 出席委員の氏名				
教育長職務代理人	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子	
委 員	小笠原 正 卓	委 員	真 田 かずみ	
3 欠席委員の氏名				
4 委員以外の 出席者職氏名	(なし)			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	長 岐 公 二	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤	
教 育 次 長	若 松 健 寿	学校教育課長補佐	柴 田 賢	
教 育 監	野 呂 謙 一	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教 育 総 務 課 長	北 林 香 子	中 央 公 民 館 長	外 館 志	
学 校 教 育 課 長	鈴 木 明	歴史文化課長補佐	鳥 潟 幸 男	
教 育 研 究 所 長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	三 浦 伸 介	
生 涯 学 習 課 長	畠 山 慶 子			
歴 史 文 化 課 長	関 智 仁			
教育総務課長補佐	宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員				
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 三浦 伸介				
8 教育長報告				
(1)	令和6年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について			
(2)	小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について			
(3)	中学生海外研修（in New Zealand）について			
(4)	令和7年度大館市立小・中学校の概要について			
(5)	大館市立学校医・学校薬剤師の任命について			
(6)	大館市社会教育委員の委嘱について			
(7)	大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について			
(8)	大館市図書館協議会委員の任命について			
(9)	大館市生涯学習奨励員の委嘱について			
(10)	ニホンザリガニの人工生息地について			
9 議 事				
協議第8号	令和7年度6月補正歳出予算要求の概要について			
10 その他				
(口頭) 第一次学力向上に関する提言について				
(口頭) 幼保小の架け橋プログラムについて				
次回 5月30日（金） 中央公民館 多目的室				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（教育総務課）

報 告 事 項	報 告 内 容
令和6年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について	【アクセス件数】 5, 797件 【教育委員会施策の情報発信の強化】 ・ホームページや新聞等を活用して、ふるさとキャリア教育の理念と実践を市民に周知するとともに、魅力ある情報を全国に発信し内容の充実を図る。 ・各会議議事録、教育委員会点検・評価を公表し、各課の施策や取り組みに理解を得る。 ・定例記者会見や広報紙、報道機関への情報提供などを積極的に活用する。 昨年度の教育委員会ホームページのアクセス件数は、6, 028件であった。 ※ 各月のアクセス件数及び地元新聞などの報道件数は、次ページのとおり。

○教育委員会ホームページ(トップページ)アクセス件数

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(件)

月	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
4	570	995	333	320	442	610
5	761	531	330	321	531	564
6	705	279	307	304	494	582
7	751	310	290	289	602	512
8	691	225	328	264	529	379
9	554	237	321	331	445	503
10	640	283	247	236	538	555
11	614	202	254	267	478	447
12	451	198	255	219	376	323
1	593	221	333	275	426	369
2	1,260	286	225	248	509	383
3	1,639	305	367	261	658	570
計	9,229	4,072	3,590	3,335	6,028	5,797

○教育委員会行事などの新聞掲載件数

(件)

課 名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
教育総務課	82	93	88	67	59
学校教育課	303	523	382	376	399
生涯学習課	213	399	173	138	221
中央公民館	247	151	76	76	65
歴史文化課	108	95	73	109	118
合 計	953	1,261	792	766	862

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（教育総務課）

報 告 事 項	報 告 内 容																		
小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について	児童生徒の安全と教育環境の充実を図るため、令和6年度の各種改修工事と修繕の実施状況は、次のとおりとなりました。 小中学校25校のうち約9割にあたる22校が建築年数25年を経過し、その中でも7校は50年を超えている現状において、緊急性の高い破損や設備の故障から優先的に実施しました。 また、山瀬小学校の屋根葺き替え工事を実施したほか、小学校2校と中学校1校の学校照明のLED化、特別防犯対策事業として、小学校7校と中学校2校に防犯カメラ等を設置しました。 令和7年度は6年度に導入した以外の小中学校22校についてLED照明化を計画しています。このほか、栗盛記念図書館のボイラー更新工事や比内中学校外壁耐震対策工事を実施予定です。 学校やPTA等からいただいた改修等の要望は、可能な限り対応しているものの多くが解消には至らずご不便をお掛けしていますが、引き続き早期解消に努めてまいります。 【対応】 ・優先度を見極め、学校運営に支障が無いように配慮して計画的に実施 ・緊急時対応は、速やかに現地調査を行い、危険な場合は立入禁止措置のうえ即時対策を実施 ・年次計画工事と併せ、予算執行状況を見極めてPTA等からの要望事項に対応 【工事・修繕等の実施状況】 <table><tr><td>・小 学 校</td><td>18 校</td><td>141 件</td><td>56,337 千円</td></tr><tr><td>・中 学 校</td><td>8 校</td><td>93 件</td><td>18,762 千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>25 校</td><td>234 件</td><td>75,099 千円</td></tr></table> ※詳細は別紙（学校別実績 上記小学校には閉校を含む） 【今後の見込み】 <table><tr><td>・7年度予算額</td><td>小学校</td><td>8,979 千円（内容は5ページ）</td></tr><tr><td></td><td>中学校</td><td>4,939 千円（ " ）</td></tr></table>	・小 学 校	18 校	141 件	56,337 千円	・中 学 校	8 校	93 件	18,762 千円	合 計	25 校	234 件	75,099 千円	・7年度予算額	小学校	8,979 千円（内容は5ページ）		中学校	4,939 千円（ " ）
・小 学 校	18 校	141 件	56,337 千円																
・中 学 校	8 校	93 件	18,762 千円																
合 計	25 校	234 件	75,099 千円																
・7年度予算額	小学校	8,979 千円（内容は5ページ）																	
	中学校	4,939 千円（ " ）																	

令和6年度学校別予算執行実績 一覧

款項目	施設名	修繕料		委託費		工事請負費		計
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額
10款2項3目 小学校費	桂城小学校	12	1,385,930	1	38,500	2	1,098,900	2,523,330
	城南小学校	8	308,970	0	0	3	1,884,300	2,193,270
	城西小学校	2	102,300	1	96,800	2	1,011,450	1,210,550
	有浦小学校	10	768,614	2	750,200	2	1,496,000	3,014,814
	釈迦内小学校	2	635,800	2	336,380	1	843,700	1,815,880
	長木小学校	6	448,536	1	136,400	2	1,322,200	1,907,136
	川口小学校	10	583,990	0	0	1	225,500	809,490
	上川沿小学校	5	317,240	1	84,370	2	1,753,400	2,155,010
	成章小学校	8	323,840	0	0	2	1,459,700	1,783,540
	花岡小学校	6	381,095	3	1,010,900	2	713,970	2,105,965
	矢立小学校	4	206,162	0	0	2	1,474,000	1,680,162
	南小学校	8	677,204	3	961,400	1	305,800	1,944,404
	扇田小学校	8	533,500	2	226,600	1	726,000	1,486,100
	西館小学校	8	590,150	1	121,000	1	1,109,900	1,821,050
	東館小学校	2	271,700	1	19,800	2	1,369,500	1,661,000
	早口小学校	4	123,200	0	0	2	1,595,660	1,718,860
	山瀬小学校	7	227,260	1	62,700	1	24,821,500	25,111,460
	旧大葛小学校	2	217,800	0	0	0	0	217,800
	旧越山小学校	0	0	0	0	0	0	0
	旧岩野目小学校	0	0	0	0	0	0	0
	旧山田小学校	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	1,177,244	0	0	1,177,244
	計	112	8,103,291	20	5,022,294	29	43,211,480	56,337,065
10款3項3目 中学校費	第一中学校	13	345,565	1	365,200	6	2,998,050	3,708,815
	北陽中学校	5	602,855	0	0	1	181,500	784,355
	下川沿中学校	7	262,790	0	0	2	1,378,300	1,641,090
	南中学校	7	404,610	1	489,500	3	1,721,060	2,615,170
	成章中学校	11	1,078,000	1	44,770	2	572,000	1,694,770
	東中学校	10	440,550	0	0	1	917,015	1,357,565
	比内中学校	9	632,720	1	3,003,000	5	1,214,400	4,850,120
	田代中学校	10	450,010	1	170,500	1	1,152,800	1,773,310
	その他	0	0	1	336,356	0	0	336,356
	計	72	4,217,100	6	4,409,326	21	10,135,125	18,761,551

令和 7 年度 工事計画一覧

款項目	施設名	工 事 名	予算額 (千円)
1 0 款 2 項 3 目	有浦小学校	高圧気中開閉器ほか更新工事	8, 979
小学校費	有浦小学校	特別支援教室エアコン電源引込工事	
施設維持及び改良費	川口小学校	大プール濾過系統配管替工事	
小学校工事費	扇田小学校	高圧進相コンデンサほか取替工事	
	西館小学校	階段室ガラスブロック養生工事	
	東館小学校	高圧進相コンデンサほか取替工事	
	山瀬小学校	高圧進相コンデンサ取替工事	
	早口小学校	高圧進相コンデンサ取替工事	
	小学校 1 7 校	その他維持補修小工事	
1 0 款 3 項 3 目	下川沿中学校	野球場バックネット支柱補強工事	4, 939
中学校費	東中学校	高圧気中開閉器更新工事	
施設維持及び改良費	東中学校	特別支援教室エアコン電源工事	
中学校工事費	田代中学校	引込高圧機器接地改修工事	
	中学校 8 校	その他維持補修小工事	

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
中学生海外研修（in New Zealand）について	3月22日から29日の日程で、広い視野と国際感覚を備えた人材育成を目的とした中学生海外研修を実施しました。 1 主な研修内容 ・事前学習会の実施（6回） A L Tと英会話の練習を行ったほか、昨年度本研修に参加した先輩から体験談やアドバイスを聞くなどの学習を行いました。また、ハウタップスクールで披露するダンスや、日本文化を伝える出し物などを考えたり、その準備を行ったりしました。 ・ハウタップスクール訪問 ハウタップスクールでは、マオリ族に伝わる伝統的なダンスや歌で盛大な歓迎を受けました。また、研修生は、はちくんダンスを元気に披露しました。 また、事前に準備していた折り紙や、名前の漢字変換サービスなどは、現地の子どもたちにとっても喜ばれました。 ・現地の生活を体感したファームステイ ファームステイは、2～3名程度のグループに分かれて3泊4日の日程で行いました。それぞれの家庭で飼育する牛や羊などの世話をしたり、家族と一緒に街へ出かけたりするなど、ニュージーランドの生活を体感する貴重な体験となりました。 【参加者】 中学2年生16名、引率教諭2名



事前学習会



ハウタップスクール訪問

令和7年度 大館市立小・中学校の概要（4月1日現在）

学校教育課

1 学校数について

小学校17校、中学校8校

2 児童生徒数・学級数について（前年比 △182名）

（1）小学校

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	複式学級	特支学級	合 計
学級数	19	16	17	17	19	22	8	33	151
児童数	317	361	393	383	397	406	(76)	(82)	2,257

* 複式学年 花岡小（1・2年、3・4年）矢立小（2・3年、4・5年）

東館小（2・3年、4・5年）早口小（1・2年、3・4年）

（2）中学校

	1学年	2学年	3学年	特支学級	合 計	参考	6年度
学級数	16	17	17	16	66	小学校	2,384名 (△127)
生徒数	397	422	437	(31)	1,256	中学校	1,311名 (△55)

* 国際情報学院中学校合格者36名

3 教職員定数について

	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養職員	合計	前年度比較
小学校	17	17	178.5	17	18	4	251.5	254.5 (▲3)
中学校	8	8	113.5	9	9	3	150.5	152 (▲1.5)
合 計	25	25	292	26	27	7	402	406.5 (▲4.5)

4 教職員等の加配について

（1）指導方法工夫改善に関する加配：小学校3校2.5名 中学校4校6名 計8.5名

（2）児童生徒支援加配：北陽中1名、東中1名

（3）中学校生徒指導専任加配：第一中1名

（4）養護教諭加配：第一中1名

（5）通級加配：桂城小2名、釈迦内小1名、扇田小1名、第一中1名

（6）日本語支援加配：有浦小1名

（7）小学校専科加配：桂城小0.5名、城南小1名、城西小0.5名、有浦小1名

釈迦内小0.5名 扇田小0.5名 合計4名

（8）小規模校加配：矢立小1名

（9）教育専門監：釈迦内小1名、第一中1名、合計2名

（10）栄養職員加配：釈迦内小1名

（11）事務職員加配・共同実施に関する加配：有浦小1名、第一中1名

（12）少人数学習推進加配：第一中1名、東中1名 合計2名

5 その他

（1）教育支援員（52名）小学校45名 中学校6名 おおとり教室1名（前年比±0）

（2）小学校英語教育推進アドバイザー1名（前年比±0）

（3）ALT4名（前年比-1） 外国語活動支援員5名（前年比-5）

（4）部活動指導員 11名（前年比±0）

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館市立学校医・学校薬剤師の任命について	大館市立学校医・学校薬剤師について任命しましたので報告します。 ・任 期 自 令和7年4月 1 日 至 令和8年3月31日

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館市社会教育委員の委嘱について	3月の教育委員会会議で8名を委嘱済ですが、この度、大館市校長会及び大館市教頭会から令和7年度の人事異動が確定したことにより関係者の推薦があり、追加で委嘱しましたので、報告します。 ・任 期 自 令和7年4月 1日 至 令和9年3月31日
大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について	大館市少年相談センター運営協議会委員は、関係団体等からの推薦により大館市長が委嘱しています。この度、令和7年3月31日をもって任期が満了したことに伴い、9名を委嘱しましたので、ご報告いたします。 ・任 期 自 令和7年4月 1日 至 令和9年3月31日
大館市図書館協議会委員の任命について	3月の教育委員会会議で7名を任命済ですが、この度、大館市校長会及び関係団体等から令和7年度の人事異動が確定したことにより関係者の推薦があり、追加で任命しましたので、報告します。 ・任 期 自 令和7年4月 1日 至 令和9年3月31日
大館市生涯学習奨励員の委嘱について	大館市生涯学習奨励員は、各公民館からの推薦により大館市生涯学習推進本部長（市長）が委嘱しています。この度、令和7年3月31日で任期が満了したことに伴い、19名を委嘱しましたので報告いたします。 ・任 期 自 令和7年4月 1日 至 令和9年3月31日

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年4月21日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
ニホンザリガニの人工生息地について	絶滅が危惧される「天然記念物指定地水系のニホンザリガニ」を守るため、令和元年度に第1人工生息地を整備し、定着状況や生息環境のモニタリング調査を行っていますが、ここ数年は30匹前後の生息が確認され、良好な生息環境が維持されています。 また、ニホンザリガニの新たな定着を目指し、本来の指定地に近い場所で整備を進めている第2人工生息地は、今年度施工するフェンス設置工事を残すのみとなっています。 国の天然記念物である「ザリガニ生息地」を子や孫世代に継承していくためにも、引き続き人工生息地でのモニタリング調査を行いながら、ニホンザリガニの生息環境の保全に努めてまいります。 ・第1人工生息地・・・相染沢中岱 ・第2人工生息地・・・池内道下 ※ザリガニの捕獲や病原菌が持ち込まれる恐れがあるため、場所はどちらも非公表
	
	【第1人工生息地】
	
	【第2人工生息地】

計画平面図

S=1: 100(A1)
S=1: 200(A3)

3年目 (18,400)

2年目 (23,000)

1年目 (24,750)

R6

R5

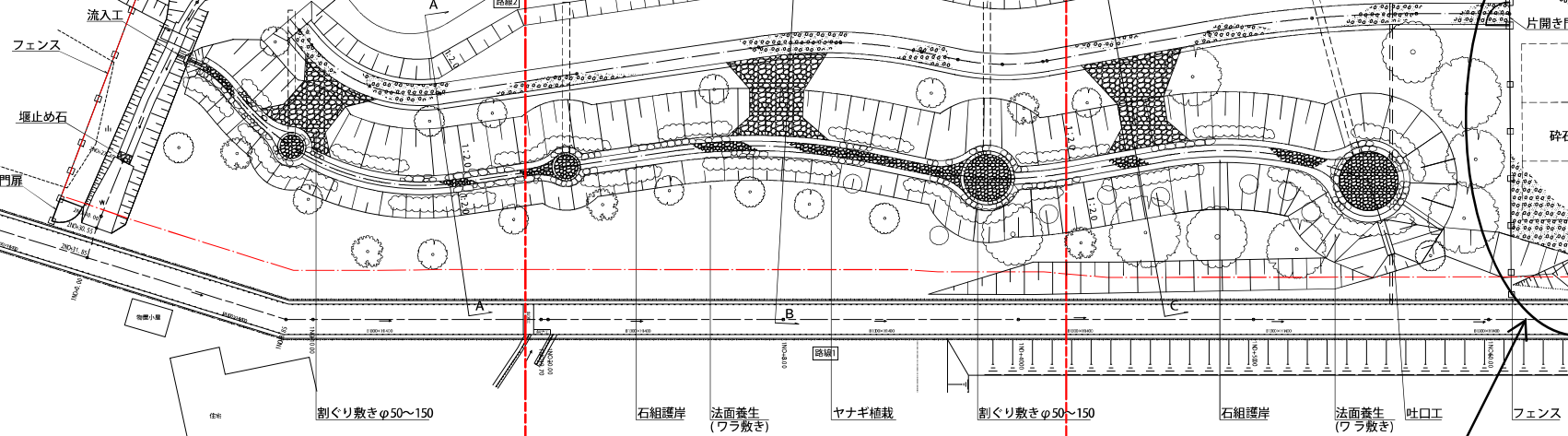
R4

NO.0

NO.0+8.4

NO.2+1.4

NO.3+6.15



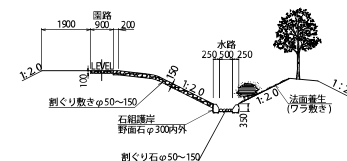
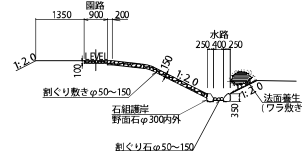
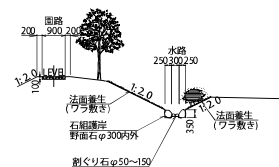
水域面積 : 18.9m2(水路部) + 9.6 m2(池部) = 合計 28.5m2

※フェンスと門扉はR7施工

A-A断面図

B-B断面図

C-C断面図



【工区別：3年分割施工】

令和6年度		工	事
河川名		番	号
箇所名		大館市池内道下 地内	
工事名		ニホンザリガニ第2 入 土生息地創出工事	
計画平面図		縮尺	(A15=1:100 (A35=1:200)
照査	設計	図面 番号	1 10
大館市			

議 事 の 経 過	
	開会 午1時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。 会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項（1）から（4）までをお願いします。
各課長	（「（1）令和6年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について」 「（2）小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について」 「（3）中学生海外研修（in New Zealand）について」 「（4）令和7年度大館市立小・中学校の概要について」 を、資料により報告）
教育長	ご質問、ご意見等はございませんか。
委員	教育総務課にお伺いします。（2）の令和7年度の工事計画一覧についてですが、私の記憶では、体育館の照明のLED化に関して、随時更新を進めるというお話だったと思うのですが、一覧の中に見当たらないのは、今後の補正予算に計上して対応するという認識でよろしいでしょうか。
教育総務課長	後ほど6月補正歳出予算要求の概要説明の際にもお伝えしますが、当初予算要求時点では実施設計を行っている段階だったため、工事費が算出されてから6月補正予算へ計上し、これが承認され次第、工事発注を行うという予定になっております。
委員	関連になると思いますが、資料3ページで、例えば小学校だと昨年度の実施状況が5,633万7千円、今後の見込みが897万9千円と記載されていますが、これも今おっしゃったように補正という形で予算の確保がされるという理解でよろしいでしょうか。
教育総務課長	ご指摘の資料は、あくまで当初予算の内容を基に作成したもので、LED関連の工事費については、補正予算がかなり大きい金額になることが想定されておりましたので、その分当初予算額が小さくなっているものです。
委員	もう1つ、比内学校給食センターだったと思うのですが、数年前にボイラーの故障があって、メンテナンスをしっかりと行ってくださいということをお願いしました。その後事故はないようなのですが、食に関わることというの

	は非常に気をつけてもらいたいと思っておりますので、そういった老朽化した設備の更新については、給食センターのボイラー等も含めて今後の検討をお願いします。
教育総務課長	給食に関しましては、保護者の方々も含め非常に心配している部分だと思います。今のところメンテナンスを行い正常に運用できておりますが、いずれにせよ状態を確認しながら計画的に更新していきたいと考えています。
委員	さらに言いますと、給食費も上がっていますので、事故等が発生すると、保護者の方々からも疑問の声が出ることもあるかもしれませんので、そういったことも踏まえて前向きにご検討をお願いしたいと思います。
委員	(4)の教職員の加配についてですが、小学校専科に加配していただいたのは大変有り難いと思っています。長木小学校の加配は今回なくなったということですが、どの程度まで広げられているのか、分かる範囲で構いませんので、今の状況を具体的に教えていただきたいです。一昔前だと高学年の理科くらいだったのですが、今はどの程度まで専科が進められているのでしょうか。
教育長	私から説明させていただきます。県教育委員会の説明によると、加配数について、これから小学校専科を増やしていく方針でしたが、今年度に限っては、教員採用試験の倍率が1倍を下回ったことから、教員不足による未配置を防ぐために加配を減らすことになったということでした。 ただ、小学校専科に関しては、今まで増やすと言ってきた都合上、減らすことができず現状維持となっており、国から割り当てられている加配数のうち、各市町村への配分だけで既に100%に達していると伺っています。 教職員数の実態からすると、これから爆発的に増えていくということは、恐らくないと思われます。実際の運営については各学校に任せられている部分がありまして、基本的に小学校専科は、いわゆるティーム・ティーチングをやってしまうと、教員2人の実働時間が変わらない状態となってしまうため、新たに加配の1人が入った場合、もう1人はその時間は授業をしないという大前提で行っています。 それを運用できる科目ということで、まず第一に挙げられるのが理科ですが、あとは加配で入った教員の得意な科目にもよりますし、時数的な縛りもあります。学校ごとに何時間以上とか、何時間までとかの縛りがあり、例えば音楽を選んでしまうと、各学年1時間ずつくらいしか授業時数がないため、週当たり6時間しか確保できなくなりますので、ある程度時数を持っている教科として、算数や体育等が対象になってくると思います。 ただ、教科にも一応制限がありますので、何でもよいというわけではなく、例えば、理科と算数といったやり方をしている学校もあります。
委員	配置される学校については、時数の関係で適しているかどうかを判断され

	ているということでしょうか。
教育長	最も優先しているのは学校の規模です。児童・生徒数が第一優先で、それから学校や配置されている教職員の状況等により決定します。増える分にはどこの学校も喜んでくれるのですが、減る学校はその分をカバーできる状況でなければいけませんので、その辺りのバランスを考慮して配置する必要があります。
委員	分かりました。増やすという方針だったので、どの辺まで広がったのかと思ってお聞きしました。
教育長	現状を考えますと、今が上限だと思われます。
委員	(4)の外国語活動支援員について、小学校を訪問した際に、担任と一緒に頑張ってくださっているのを見かけます。この方々の具体的なお仕事の内容について再確認させていただきたいのですが。
教育研究所長	外国語活動支援員はその名のとおり、授業を自ら進めるのではなく、学級担任が進めている授業で外国語の発音アシストをしたり、一緒に外国語で会話をしたりしています。また、教材を作成して先生方へ提供する場合もあります。
委員	外国語活動支援員が10人から5人に減るということですが、しっかりと学力を保證できる形で進めてほしいと思います。少なくなったことによって、子どもたちの外国語に対する興味が失われたりすることがないようにお願いします。
委員	(3)の中学生海外研修について、参加された子どもや保護者何人かに話を伺う機会がありました。参加させて本当に良かったという意見がほとんどでしたが、一部からは、ファームステイ先で大変な目にあったというお話も伺いました。 具体的には、叱られてばかりで嫌になったとか、食事がインスタントラーメンだけだったという内容で、ファームステイ先によって体験に差が出てしまったのは残念に感じました。生徒と保護者からアンケートを取っていただいて、今後の活動について役立ててもらうことが必要なのではないかなと思いました。 市教育委員会として、ファームステイ先の選定に直接的な関与はできないかもしれませんが、それは大人の都合であって、子どもたちにとっては、あえて言葉を選ばずに言うと、外れを引いてしまい、その子どもたちがもう外国には行きたくないというマインドになってしまうことも懸念されます。 その点について、市教育委員会で何かできることがあれば手を打っていただきたいと思いました。

学校教育課長	温かく現地の方々に迎えられたと伺っていたのですが、実際そういったことがあったとするならば、アンケート等の方策を考えて実施し、反省点として次へ生かした上で、今後も継続できればと考えています。
教育長	これまで海外研修へ参加して、現地のファームステイ先について話題になったことは恐らく一度もないですが、事業を進める中で、ファームステイ先を差配しているのは業者ではあるものの、事前のやりとりを市教育委員会がしっかりと行うのは可能なはずですので、そういった情報も共有しながら配慮していかなければいけないと思います。
委員	特に今年度からは人数が減るようなので、そういったことも含めながら、子どもたちに実りある研修を提供していただけたらと思います。
委員	小笠原委員から内情は伺いましたが、いろいろと配慮しなければいけないこともあります。こういった中学生の海外研修があること自体が非常に素晴らしいことだと思っています。 私が小中高のときにはなかったのですが、大学時代にカナダへ留学する機会がありまして、学習面だけでなく本当に世界観がぐっと広がるような、何にも代えがたい体験だと思いますので、今後も1人でも多くの子どもたちが参加できるように、この事業を続けていただきたいと願っています。
教育長	では、次に（５）から（１０）までを続けて説明願います。
各課長	「（５）大館市立学校医・学校薬剤師の任命について」 「（６）大館市社会教育委員の委嘱について」 「（７）大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について」 「（８）大館市図書館協議会委員の任命について」 「（９）大館市生涯学習奨励員の委嘱について」 「（１０）ニホンザリガニの人工生息地について」 を、資料より説明）
教育長	ご質問等ありましたらお願いします。 ちなみに、（１０）について、現時点で第２人工生息地に生息しているニホンザリガニはいないという認識で正しいでしょうか。
歴史文化課長	先日確認したときはまだいませんでした。すぐ近くにいることは分かっているのですが、捕まえて移動させるということはできませんので、自然に移動してくれるのを待っている状況です。
委員	（１０）について、きゅうかもしれないのですが、フェンスで囲うことによって、ここにいることを知らせてしまうのではないかと心配しています。最近日本も治安がだんだん悪くなってきているので、何かしら金銭的なもの

	に結び付くとなると、良からぬことを考える人たちが出てくる可能性もあるのではないか懸念しているので、例えば監視カメラを設置するとか、予防対策はお考えでしょうか。
歴史文化課長	委員ご指摘のように、フェンスで囲うと何かがあると考えer人が出てくる可能性もございますし、何もなければ容易に侵入される可能性が高くなりますので、一長一短があると思います。 このザリガニの人工生息事業に関しましては、専門家を交えた委員会を立ち上げているのですが、その中で、クローズにするのもひとつの手ですが、むしろオープンにして、そこでどういった趣旨でどういう意義があるのか、環境を守りたいという一番大事な部分をきちんと知らしめないと分かってもらえないという意見がございました。 また、何をしているのかつまびらかにした上で周りの理解を得ることが環境や天然記念物を守っていこうという郷土に対する愛着心につながるのではないかという意見もございましたので、それに基づいて現在事業を続けているところです。
委員	分かりました。ぜひ一緒に頑張りましょう。
委員	関連してお伺いします。法律的なことなので回答が難しいかもしれないのですが、第2人工生息地が誰の所有地なのかによって、侵入については何かしら法的に保護できる方法があるのではと思いました。 併せて、確かニホンザリガニは何かにカテゴライズされていて、捕獲すると罰せられるのではなかったでしょうか。
歴史文化課長	まず土地に関してですが、これは個人の所有する土地をお借りして事業を行っておりますので、無断で入った場合は不法侵入ということになります。 次に、レッドリストに分類されているか、そういった意味でのご質問かと思いますが、ニホンザリガニ自体はレッドリストに載っています。確か何年か前に法律が変わって、商業目的での捕獲はできなくなったはずですが、研究目的での捕獲や売買はしてもよいことになっておりますので、捕獲に対して全て罰則が生じるわけではありません。 また、ザリガニ生息地の南限としての個体数は減っているのですが、大館市内でも北部では比較的個体数が多いです。大切なのは、天然記念物に指定されているザリガニ生息地の南限を守っていくということです。
委員	分かりました。
教育長	ほかにございますか。 ないようですので、議事に移ります。説明をお願いします。
各課長	(「協議第8号 令和7年度6月補正歳出予算要求の概要について」

	を、資料により説明)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	教育研究所費に、「私たちの大館市」という小学校３・４年生の副読本がありました。その中の情報利用料という項目について、具体的にどのようなものか教えていただけますか。
学校教育課長	小学校３・４年生社会科の副読本につきましては、首都圏を基準に作成・製本されていて地方の児童には馴染みにくいため、大館に限らず地域の特色を生かして子どもたちの身近な事柄を事業に反映させ、充実させるものとして作成を計画しております。
教育研究所長	これまでは、社会科の副読本は紙媒体のものを使っていましたが、デジタル化が非常に進んできておりますので、子どもたちがタブレットでも使いやすいようにデジタル媒体にするものです。各教職員が編集したものを、児童が見やすいようにルビを振ったり整えたりした上で、PDFデータ化するところまで業者へ依頼したいと思っています。 ただ、１４０ページにも上る膨大な量なので、見出しや目次をつけたり、目次をタップすると見たいページへ移動したりできるような仕様にしたものを、グーグルの無料枠を使って活用していきたいと思っています。
学校教育課長	補足ですが、先ほどお話のありました情報利用料は、電子書籍化の年間使用料として、５万円程度を予定しております。
委員	電子書籍化の利用料ということですか。
学校教育課長	電子書籍化した後の年間使用料ということです。
委員	加工・データ化したものをクラウド等に保存し、それをタブレットで見られるようにするための利用料が、年間５万円程度かかるという認識でよろしいですか。
学校教育課長	はい。そのとおりです。
委員	理解しました。
教育長	ほかにございませんか。 ないようですので、その他に入ります。
教育研究所長	(「第１次学力向上に関する提言について」 「幼保小の架け橋プログラムについて」

教育長	を、口頭報告) これは余談ですが、先日、花巻市で行われた東北都市教育長会議に出席した際に、小1プロブレムという議題がありまして、小学校1年生になったときに集団に馴染めない子どもへの対応として、その解決策の第一に挙げられていたのがこの幼保小の架け橋プログラムでした。 その中で、東北の中でも大館市は結構有名になっていまして、いろいろな会で大館市は進んでいますねという言葉いただきました。 ここまでについてご意見、ご質問等はございませんか。
委員	幼保小の架け橋プログラムについては本当に感謝しています。 もちろん、小学校だけで教育が完結するわけではないですし、大館市がずっと進めてきた、ゆりかごから短大を出るまで、全て一つの家で子どもの面倒を見ましょうというプログラムの中で、どうしてもここは弱かった部分だと思います。それに率先して取り組んで、ここまでのプログラムに仕上げていただきました。 訪問でも子ども園や幼稚園をたくさん見せていただいて、その子どもたちが小学校に上がる姿も見せていただいて、そういう中で大館の子どもたちがすくすくと切れ目なく育って行く姿は心を打たれるものがあります。 ぜひともこのプログラムを大事にして、しっかりと発信していただけたらと思っています。
委員	学力・学習状況調査の平均通過率について、令和6年度になって小学校理科とか中学校理科・英語等、県の平均を大幅に上回る教科もあって素晴らしいと思います。 特に英語は、いろいろな学校で授業を拝見すると、本当に皆さん積極的にストレスなく話して、聴いて、書いてを発揮できていると感じます。先日、高校で英語の授業参観に出席したのですが、大館の子どもたちは、知らない単語とか文法も臆せずにALTと話していて、英語の学習の目的はここなのだと感じました。
教育長	実は英語は大館市の弱点だったのですが、ここ何年かの取り組みで非常に成果が出ていることは間違いありません。ただ、気を付けなければいけないのが、英語に関しては理科や数学、国語とは異なり、例えば中学校1年生でここまで学習しなければならないという示しがなくて、学習指導要領上も、1年生から3年生までの間でここまでという示しになっています。 ですから、なぜ1・2年生の段階で学力・学習状況調査ができるのか、という疑問が生じます。教科書で扱っている内容がテストに反映されているため、市町村によって使用している教科書が異なっているという実情から、点数だけを見て、一喜一憂すべきではないと個人的には思っています。
委員	学力に関する提言の中で、学力・学習状況調査の質問紙のデータも入れて

	いただいて、本当に分かりやすいと思いました。質問紙の内容も社会の変化に合わせて毎年変わってきていて、今回ですと幸せな気分になりますかとか、いじめのこととかいろいろありました。 そこで、大館型学力には直接関係がないかもしれませんが、できればそういったほかの部分の質問紙のデータについても見せていただける機会があればいいなと思いました。
教育長	教職員全体で共有する必要はないかもしれませんが、教育委員の皆様データとして提供することは可能だと思います。
委員	気になる質問紙があったりしますので、ぜひとも教えていただけたらと思います。
教育長	ほかにございますか。 では、予定されていた議題については以上で終了いたします。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	委員の皆様から何かございませんか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後 3 時 0 0 分